

新品種候補 (2010年1月作成)

研究課題名：てんさい新品種候補系統「H 137」の概要 (222511)

担当部署：北見農試・作物研究部・畑作園芸科、十勝農試・作物研究部・畑作園芸科、中央農試・作物研究部・畑作科、上川農試・研究部・畑作園芸科、北農研・寒地バイオマス、てん菜協会

キーワード：テンサイ、そう根病抵抗性、高糖量

1. 特性一覧表

系統名：「H 137」 組合せ： HDKPP912037 × HC13028

特性：長所 1. 糖量が多い。

2. そう根病抵抗性が“強”である。

短所 1. 褐斑病抵抗性、根腐病抵抗性が「リゾマックス」より弱い“やや弱”である。

普及見込面積：平成22年度 800ha 平成23年度以降 10,000ha

栽培条件	健全圃場				そう根病発病圃場	
	平成18～21年				平成20～21年	
調査年次	平成18～21年				平成20～21年	
品種・系統名	H 137	モノホマレ (標準品種)	レミエル (対照品種)	リゾマックス (対照品種)	H 137	リゾマックス (対照品種)
倍数性	二倍体	二倍体	三倍体	二倍体		
葉姿	直立	直立	やや開平	中間		
葉長	中	長	中	中		
葉数	多	やや多	やや多	やや多		
葉形	やや皮針	皮針	楕円	皮針		
クラウンの大小	小	小	やや小	小		
根形	やや短円錐	円錐	円錐	円錐		
分岐根	少	少	少	少		
露肩	やや多	中	中	やや少		
根重(t/10a)	8.05(118)	6.85(100)	7.44(109)	7.93(116)	7.17(102)	7.03(100)
根中糖分(%)	17.17(103)	16.69(100)	17.24(103)	16.67(100)	17.71(102)	17.28(100)
糖量(kg/10a)	1,377(121)	1,141(100)	1,278(112)	1,318(116)	1,269(104)	1,215(100)
修正糖量(kg/10a)	1,213(123)	989(100)	1,140(115)	1,161(117)	1,167(104)	1,121(100)
アミノ態窒素(meq/100g)	1.56(75)	2.09(100)	1.88(90)	1.66(79)	0.69(65)	1.06(100)
カリウム(meq/100g)	4.19(93)	4.49(100)	3.95(88)	3.85(86)	1.58(69)	2.30(100)
ナトリウム(meq/100g)	0.36(56)	0.64(100)	0.40(63)	0.40(63)	0.38(81)	0.47(100)
不純物価(%)	3.90(81)	4.79(100)	3.97(83)	3.93(82)	2.47(104)	2.38(100)
抽苔耐性	強	強	強	強	参考品種との比較(平成18～19年)	
そう根病抵抗性	強	やや弱	—	強		
褐斑病抵抗性	やや弱	やや弱(やや強)	弱	やや強	根重(t/10a)	8.34(108) 7.73(100)
根腐病抵抗性	やや弱	やや弱(弱)	やや弱	やや強	根中糖分(%)	16.65(102) 16.29(100)
黒根病抵抗性	中	中	中	中	糖量(kg/10a)	1,384(110) 1,256(100)

注1) 形態的特性は北見農試の成績。健全圃場は十勝農試、北見農試、北農研センター、てん菜協会(3カ所)の計6カ所、延べ24カ所平均で、()は「モノホマレ」に対する比。

2) 修正糖量、アミノ態窒素、カリウム、ナトリウム、不純物価は平成19、20年の十勝農試を除く。

3) そう根病発病圃場は北見農試そう根病抵抗性検定圃場の2カ年平均(そう根病発病程度は平成20年:中、平成21年:少)で、()は「リゾマックス」に対する比。

4) 特性検定は担当農試の成績で、褐斑病抵抗性、根腐病抵抗性における「モノホマレ」の()内は品種登録時の評価。「レミエル」はそう根病抵抗性を持たないため、特性検定試験には供試していない。

5) 参考品種との比較は、健全圃場における2カ年延べ12カ所平均。()は「アセンド」に対する比。

